

様式第1（第3条関係）（表面）

特定施設~~（有害物質貯蔵指定施設）~~設置~~（使用、変更）~~届出書

〇〇年〇〇月△△日

八戸市長 殿

届出者

有限会社〇〇写真店
代表取締役 八戸 太郎

届出種類以外は二重線で消してください。

水質汚濁防止法第5条第1項~~、第2項又は第3項（第6条第1項又は第2項、第7条）~~の規定により、特定施設~~（有害物質貯蔵指定施設）~~について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		(有) 〇〇写真店	※整理番号	
工場又は事業場の所在地		八戸市内丸一丁目1-1	※受理年月日	年 月 日
第5条第1項関係	特定施設の種類の	68 写真現像業の用に供する 自動式フィルム現像洗浄施設	※施設番号	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	※審査結果	
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備考	
	△特定施設の設備（有害物質使用特定施設の場合に限る。）	別紙1の2のとおり。		
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。		
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。		
△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。			
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類の			
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。		

設置する特定施設の種類の政令別表第1の番号及び名称を記入してください。

該当するものにレ印を記入してください。

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; color: red; font-weight: bold;"> 該当する事項以外は斜線や二重線等で消してください。 </div>
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。	
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。	
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。	
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。	

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称(指定地域特定施設にあつては、名称)を記載すること。
 - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
 - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
 - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 6 排出水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
 - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

参考事項

1. 連絡先 届出内容の確認が必要となった場合の担当者の連絡先を記載ください。

連絡先	住 所	八戸市内丸一丁目1-1		
	名 称	(有) ○○写真店		
	担 当 者 所属部署		担 当 者 氏 名	八戸 太郎
	電 話	□□△△ (〇〇) △△□□	FAX	△△□□ (〇〇) □□△△

2. その他参考 (※届出者は記入しないこと)

--

別紙1

特定施設の構造		
工場又は事業場における施設番号	1. 現像機	工場等で使用している施設名称、番号等を記入してください。
特定施設番号及び名称	68 写真現像業の用に供する自動式フィルム現像洗浄施設	
型 式	FN社製 ○○	機械等の型式を記入してください。
構 造	プラスチック、ステンレス製 (仕様書等の複写添付も可)	
主 要 寸 法	1 m×1.5 m×1.5 m (h)	寸法、設置基数を記入してください。
能 力	20本/時	
配 置	別紙6のとおり	
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	○○年 ××月 △△日	年 月 日
工事完成予定年月日	○○年 ××月 □□日	年 月 日
使用開始予定年月日	○○年 ××月 ○○日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

- 備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。
- 2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

特定施設の設備

工場又は事業場における施設番号	1. 現像機	
特定施設番号及び名称	68 写真現像業の用に供する 自動式フィルム現像洗浄施	
設 備	廃液入れタンク、ます	
構 造	廃液入れタンク：プラスチック製 ます：ステンレス製 床：コンクリート（50mm厚）	
主 要 寸 法	廃液入れタンク：18L ます：50cm×30cm×5cm	
配 置	別紙6のとおり	
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	〇〇年 ××月 △△日	年 月 日
工事完成予定年月日	〇〇年 ××月 □□日	年 月 日
使用開始予定年月日	〇〇年 ××月 〇〇日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

備考 1 有害物質使用特定施設に該当しない場合には、本様式を提出することを要しない。

2 配置の欄には、当該特定施設の設備の配置を記載すること。

特定施設の使用方法

工場又は事業場における施設番号		1. 現像機			
特定施設番号及び名称		68 写真現像業の用に供する 自動式フィルム現像洗浄施設			
設置場所		別紙6のとおり			
操業の系統		発色現象→水洗→定着→水洗→乾燥			
使用時間間隔		毎日			
1日あたりの使用時間		約3時間			
使用の季節的変動		なし			
原材料（消耗資材を含む）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量		① 現像液 0.5L/日 ② 定着剤 0.5L/日 ③ 安定剤 0.1L/日 使用有害物質： ① 硝酸化合物及びホウ素（ホウ酸） ② アンモニウム化合物		使用有害物質については、MSDS等または製造者から確認してください。	
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH				
	BOD (mg/L)				
	COD (mg/L)				
	SS (mg/L)				
	n-ヘキサン抽出物質含有量(mg/L)				
	大腸菌群数(個/cm ³)				
	窒素含有量(mg/L)				
	磷含有量(mg/L)				
汚水等の量(m ³ /日)	通常		最大	通常	最大
		1. 1L/日			
その他参考となるべき事項		廃液は全量回収する。			

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号									
処理施設の設置場所	別紙6のとおり								
設置年月日	年	月	日	年 月 日					
工事着手予定年月日	〇〇年	××月	△△	年 月 日					
工事完成予定年月日	〇〇年	××月	□□	年 月 日					
使用開始予定年月日	〇〇年	××月	〇〇	年 月 日					
種類及び型式	廃液入れポリタンク								
構造									
主要寸法									
能力									
処理の方式									
処理の系統									
集水及び導水の方法									
使用時間間隔									
1日当たりの使用時間									
使用の季節変動									
消耗資材の1日当たりの用途別使用量									
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH								
	BOD (mg/L)								
	COD (mg/L)								
	SS (mg/L)								
	n-ヘキサン抽出物質含有量(mg/L)								
	大腸菌群数 (個/cm ³)								
	窒素含有量 (mg/L)								
	リン含有量 (mg/L)								
量 (m ³ /日)									
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法									
排出水の排出方法									
その他参考となるべき事項	現像液は、屋内廃棄物置場のタンクに保管。定期的に業者回収される。								

- 備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。
- 2 排出水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

排水水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号		生活排水			
排水水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH				
	BOD (mg/L)				
	COD (mg/L)				
	SS (mg/L)				
	n-ヘキサン抽出物質含有量 (mg/L)				
	大腸菌群数 (個/cm ³)				
	窒素含有量 (mg/L)				
	燐含有量 (mg/L)				
	排水水の量 (m ³ /日)	通常	最大	通常	最大
	0.5				
その他参考となるべき事項	特定施設からの排水（廃液）は全量が業者回収される。				

備考 排水水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

用水及び排水の系統

<p>用水及び排水の系統</p>	<p>店内の平面図（現像機及び廃液保管場所の位置がわかるもの）を記載。 別紙を添付することも可。</p>		
<p>用途別 用水使用量</p>	<p>用途</p>	<p>使用水</p>	<p>用水使用量 (m³/日)</p>
	<p>生活用水</p>	<p>水道水</p>	<p>0.5</p>